

#オオイタレキシ旅

大分市内にあるとっておきの文化財の魅力を届けます!

— 第三弾 —
大分銀行赤レンガ館

奥には中庭と小さな回廊が



赤いレンガと白い石材

Akarengakan



大分銀行赤レンガ館(国登録有形文化財)
東京駅と似ていませんか?

Point

外観も内装も素敵な赤レンガ館! 見学の際は、ぐるっと一周回ってみてくださいね。

Access

所在地: 府内町2-2-1 ※大分駅から徒歩約6分
駐車場: 無し(近隣の有料駐車場をご利用ください)

☎ 文化財課 ☎578-7546

街中で異彩を放つレトロな洋館

市の中心部で、ひときわ目を引くレンガの建物。「大分銀行赤レンガ館」は、大正2年に旧第二十三銀行本店として建てられた大分を代表する洋風建築です。東京駅なども手掛けた辰野片岡建築事務所(辰野金吾・片岡安)により設計されました。

英国から取り寄せた赤レンガのタイル壁と白い石材の対比や丸と四角の窓の連なりが美しく、特にランタンを持つ八角形ドームの屋根は「辰野式ルネッサンス」といわれ、そのクラシカルなたたずまいがまちの人々に親しまれています。

現在館内は、県産品を販売するショップやカフェとなっています。趣のある空間でゆっくりと過ごしてみませんか。

市報クイズ

○に入る言葉は何か?

大分市が主人公の故郷として登場する全国で公開中の映画は?
「○○○○」

ヒントは、この市報の中にあります。

正解者の中から抽選で、大分のいちじく果肉ソース&佐賀関あまなつジャムを3人にプレゼント!
※当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

応募方法

スマホ 右の二次元コードから応募してください。

はがき はがきに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、市報の感想を記入し、9月15日(金)〈消印有効〉までに広聴広報課(〒870-8504 荷揚町2-31 ☎537-5713)へ。



8月1日号「市報クイズ」の答え

関の鯛つりおどりの掛け声は何でしょう??
鯛(じ)や(い)♪



今号の表紙は、「おでかけ」がテーマ。

市美術館で活動するボランティアグループ「こもれ美」のメンバーに登場していただきました。おそろいのポーズから、チームワークの良さが伝わってきますね😊
市美術館にもぜひお越しください🐼

まだ暑さは残りますが、少しずつ涼しくなる秋の季節🍁
小まめな水分補給を忘れずに、おでかけしませんか🎵

市公式SNSでは、旬な情報を発信中!



市公式SNSはこちら▶



市民図書館からのお知らせ

①図書館でお月見

無料

天体講座と屋上での天体観察
日時: 9月24日(日) 午後7時~9時
場所: 市民図書館2階 会議室
対象: 市内小中学生とその保護者15組
(要事前申込み)

②中学生ビブリオバトル大会

無料

参加者がおすすめの本を紹介し、一番読みたくなったチャンプ本を投票して決めます。
日時: 10月1日(日) 午前10時~11時
場所: 市民図書館2階 おはなしのへや
対象: 市内中学生

申込み 直接または電話で、9月1日(金)から市民図書館へ。



☎ 市民図書館 ☎576-8241

市民図書館所蔵 おすすめの新作



ひろいせかいはいきみのもの

オリヴィア・ホープ:文 ダニエル・イグナス:絵
化学同人

蝶と一緒に花の中で休み、象と一緒に行進し、オオカミと一緒に雪山を駆け抜ける…。子どもたちにとって、想像の世界は冒険でいっぱい。この絵本の美しく力強いイラストは、冒険の世界に踏み出そうと呼びかけているようです。

マンガでわかる ちょこっと社会貢献

上村 彰子:著 深山 雪男:マンガ
小学館

ボランティア活動をしたいけど、何から始めればいいのか分からないという人は、この本を読んでみてはいかがでしょうか。人生100年時代に、自分のスキルを生かして人の役に立つ。そんな生きがいづくりに役立つ、プロボノの入門書です。



人権・同和教育シリーズ 537



人の生き方を考える 相手の立場に立つて...

先日、いつもは見掛けない高齢の夫婦がバスに乗ってきました。松葉杖で歩く妻を夫が支え「すみません」と謝りながらやつのことでもわたしの座席付近の手すりにつかまりました。わたしは、その夫婦をチラリと見て「こんなに混雑しているバスに乗らなくてもいいのに」と思いながら、すぐに手元のスマホに視線を落としました。すると、近くに座っていた二人組の高校生がスツと立ち上がり「よかつたら座りませんか」と声を掛けたのです。バスを降りるときには「降ります。通路を開けてください」と周囲に呼び掛け、夫婦と一緒に降りていきました。わたしはその様子を見ていただけでした。

その日の昼休み、同僚に今朝の出来事話を話しました。同僚は「わたしも同じような経験があるよ。病院の予約があつてどうしても朝早いバスに乗らないといけなかったの。子ども

わたしは、毎朝バスで通勤をしています。この時間帯の車内はいつも満席でたぐさんの人が乗っています。

を抱っこして、ベビーカーと荷物を持ってバスに乗りようとしたんだ。時間がかかると思い、後ろの人に「お先にどうぞ」と言ったの。そしたら「大丈夫ですよ。お手伝いしましょうか」と声を掛けてくれて、しかも荷物を持ってくれたの。その様子に気付いた運転手さんは「慌てずに乗車してください」とアナウンスしてくれて、とってもうれしかった」と話したのです。

わたしは、朝の出来事を思い出してドキッとしました。あの夫婦も理由があつてバスに乗ってきたはず。そのことに気付かないばかりか、乗らなければいけないのに考え何もしなかった自分。それに比べてサツと行動した高校生の二人。相手の立場に立つて考えることができなかつた自分を恥ずかしく思ったのです。

帰りのバスの中で今日のことを思い出していると、地図を見ている外国人の人や赤ちゃん連れの親子、大きな荷物を持った人:いろいろな人がいることに気付いたのでした。

相手の立場に立つて想像することが大切です。そうすることで、きっと皆さんの「気づき」があるはずですよ。